



団体名	アースパルKOBÉ		
団体の所在地	神戸市	代表者名	宮本 光晴

1. 事業名	省エネアドバイザーによる「家庭の省エネ診断」事業		
2. 実施期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日		
3. 主な実施場所	アースパル KOBÉ 事務局セミナールーム 神戸HDC (ハウジングデザインセンター)、地域福祉センター (ふれまち地域内) こうべ KANSAI 住環境協議会		
4. 活動形態	・環境パートナーシップ事業		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①「神戸市ふれまちエコタウン」1箇所(塩屋北)で「うちエコ診断説明会」(34名参加)を実施。一般顧客向けに、「健康と断熱のセミナー」(HDCで開催:30名)実施。家庭の省エネのポイント&lt;省エネと投資&gt;を考慮したセミナーの実施。</p> <p>②近年、住宅の建築に際し、エコ住宅や長期優良住宅などが重要になっている。住宅エコポイントも実施され、その中でも住宅開口部の断熱で、うち窓・樹脂サッシでの対策が省エネ効果に大きな役割を果す。また、電力会社やガス会社・サッシ会社の新製品の省エネ効果など進展も著しい。これらを総合的に、一般の人にもわかりやすく、ツール・ゲーム化した「リフォーム ビンゴ!」シートとその解説書を制作。セミナー・イベント用の総合的な「智恵カード」として開発できた。</p> <p>③省エネアドバイスをする人たちの研修の実施。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止と連動した「家庭の省エネ」で、リフォームと結びつくことにより、各家庭の「エコ度」と「何故なかなか踏み切れないか」のポイントがわかり、「CO2削減の対策」の行動に移せる。</li> <li>・中でも住宅開口部の断熱で、うち窓・樹脂サッシでの対策が省エネ効果に大きな役割を果すことが認識され、この普及・啓発の点でも大きな成果を得た。</li> <li>・地球温暖化を普段啓発するアドバイザーも、住宅の断熱と健康とを結びつけたところに、大きな意識の変化と住宅のリフォームの重要性がわかるようになった。</li> </ul>		
7. 成果物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般市民向け、「省エネ説明会(断熱について)」用の資料</li> <li>2. 「内窓・樹脂サッシ等」-「日本の住宅を変えるぜよ」実用本⇒アドバイザー向け</li> <li>3. 「リフォーム ビンゴ!」シートとその解説本</li> </ol>		
8. 活動写真説明	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>リフォーム 断熱と健康セミナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ペアガラス実験・体験研修</p> </div> </div>		